

出題例

大分県立看護科学大学

小論文

【図表問題】

問題

大分県と東京都に住む 15 歳以上の人（それぞれ約 5 千人と約 1 万人）をくじ引きで選び、ある 1 週間の行動を調べ、行動ごとに 1 日あたりの平均時間（分）を求めた結果が以下の表である。ただし、A～J 以外の行動時間は省略しているので、A～J の合計は 24 時間にならない。この表に基づいて、問 1～2 に答えなさい。

表 男女、行動の種類別の 1 日あたり平均行動時間（分）

行動の種類	大分県		東京都	
	男性	女性	男性	女性
A 睡眠	470	456	455	452
B 仕事	293	162	297	162
C 通勤・通学	29	18	53	32
D 食事	93	100	100	108
E 身の回りの用事	71	88	73	95
F 学業	29	26	30	27
G 家事	23	152	16	139
H 介護・看護	2	6	2	7
I 育児	5	20	9	27
J 買い物	17	33	17	35

（出典 総務省統計局「平成 28 年社会生活基本調査結果 都道府県，行動の種類別総平均時間一週全体，男（15 歳以上），女「15 歳以上」

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000031617858&fileKind=0>

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000031617859&fileKind=0>

より作表)

問 1 大分県の結果の男女差について、理由として推測できることを一つ、60～80 字で述べなさい。

問 2 男性の行動時間について、大分県と東京都で差が大きいものを二つあげ、この差の理由についてのあなたの仮説を 160～180 字で述べなさい。

【出題の意図】

- 問1 表から情報を的確に読み取り、読み取った情報から仮説を見つけ出し言語化する思考力・表現力を問う。
- 問2 表から情報を的確に読み取り、読み取った情報から仮説を見つけ出し言語化する思考力・表現力を問う。

問題

次の図は、昨年、ある地域で中学生と高校生を対象におこなった調査の結果で、平日の就寝時刻が午前0時以降である人の割合と、日中の眠気がとても強い人の割合を示したものである。ただしどちらの結果でも、無回答の生徒はいなかった。これらの調査結果に基づき、次の問に答えなさい。

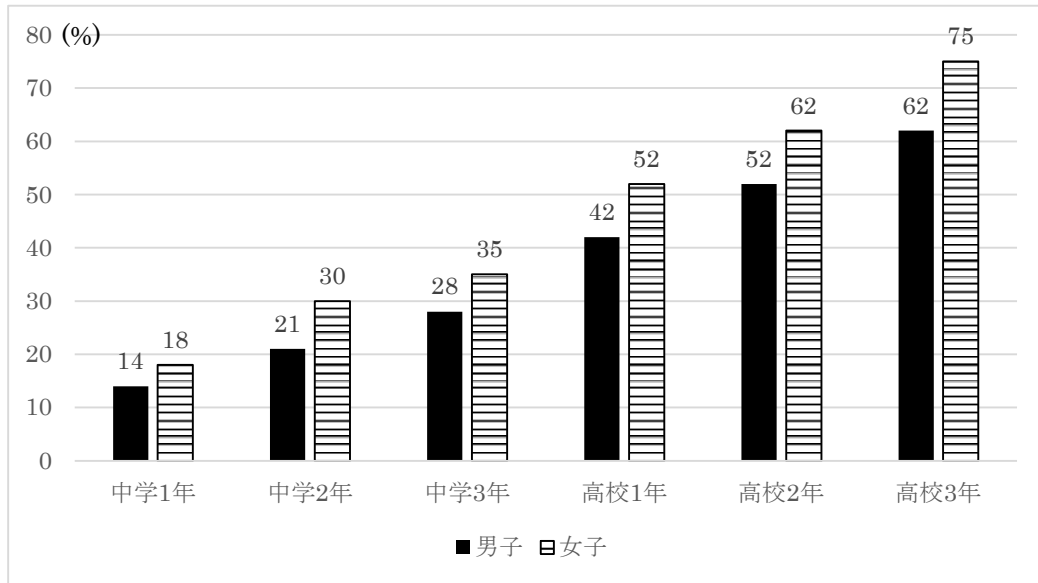


図1 平日の就寝時刻が午前0時以降である人の割合

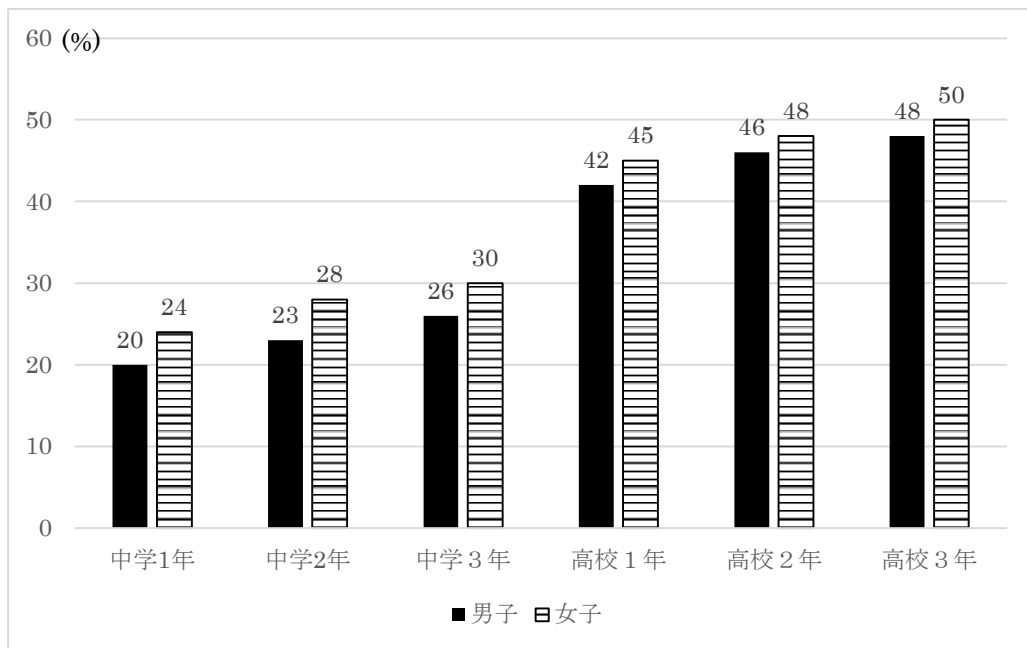


図2 日中の眠気がとても強い人の割合

問1 2つのグラフから読み取れることを3つあげ、さらにこのような結果になった理由は何か、あなたの仮説を160～200字で書きなさい。

【出題の意図】

問1 グラフから情報を的確に読み取り、読み取った情報から仮説（新しい課題）を見つけ出し言語化する思考力・表現力を問う。